

水道料金体系の改正について

平均供給単価	180円（平均改定率 12.5%）現行 160円
増収目標額	3億円（税抜）程度
内部留保資金残高	15億円程度を確保

案 1

- (1)均一に 12.5%改定
- (2)大口径（100 mm以上）は、全体で 12.5%調整
- ・基本料金 12.5%
 - ・従量料金 12.5%
 - ・逓増率 1.50（1m³ あたり 222 円／148 円）
 - ・増収額 約 3.1 億円

案 2

- (1)基本料金の全体バランスを改善するため、小口径（13 mm～25 mm）は、平均より抑える。
- (2)給水原価割れの従量料金を改善
- (3)大口径（100 mm以上）は、全体で 12.5%調整
- ・基本料金 12.5% ただし、小口径の改定率を平均改定率より抑え 10.5%
 - ・従量料金 給水原価割れは、15%、その他 13%、51m³ 以上 12.5%統合
 - ・逓増率 1.43（1m³ あたり 216 円／151 円）
 - ・増収額 約 3.04 億円

※参考 基本料金と従量料金のバランス（平成 29 年度決算）

口径	基本料金	従量料金
13 mm	4 5 %	5 5 %
20 mm	3 4 %	6 6 %
25 mm	1 2 %	8 8 %
30 mm	6 %	9 4 %
40 mm	4 %	9 6 %
50 mm	2 %	9 8 %
75 mm	1 %	9 9 %
100 mm	0 . 3 %	9 9 . 7 %
150 mm	3 %	9 7 %
200 mm	1 %	9 9 %
全体	3 0 %	7 0 %